

刊夕 日九月五



定額一冊五錢  
 廣告料五號十二字一行金五拾錢  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

「無理」の考察

川原生

武藤元師が家人を警めて「無理をするな」と云はれてゐたといふことであるが、無理をせず済むやうになれば、人間としては確に理想といふか、希望といふか或る域にまで到達したものと見てよいであらう。言ひ換へれば、我々平凡人は兎角無理をせずには居られない。外部からの、又内部からの刺戟、衝動に對してつひ動かされる。そこに無理を生ずる。——それほど弱いのかも知れぬ。

今日の人の心、社會の狀態に就いて見るに、何一つとして無理のないところはないやうである。人心の動搖といひ、社會の不安といひ、一言にすれば、今日の通り言葉たる非常時は實にこの無理のシノニムと云つてよいであらう。或は云はん、無理をせぬといふことは、なるがまゝで、そこには進歩も發展もない。と。成る程、我々が勉強し、努力することは何等かの形に於いて無理をすることだといふことも出来よう。併し惟ふに、人性に發展、向上といふことが本具のものであると云へるならば、敢へて無理をしてまでも勉強し

努力する必要はないのではあるまいか。その無理の結果が神經衰弱となり、疲弊となるのである。

これは社會現象に多くその例を見る。無理な金禁示も金解禁も共に結果は不景氣であつた。資本主義の無理な發達は共產主義を招來し、又招來せんとす。併し又、共產主義の無理な實行の結果はどうか。この實例はソヴェット、ロシアが物語つて居る。ファッシズムの運動にも同様の無理はないか。

現代はあらゆる方面に此無理がきき過ぎてゐないか無理で何事をも、押し切る——そして押し切れば、それを強いと云ふ、正しいと云ふ。併しそこには道理の引込むといふやうなことが起らないか。もしさうだとすれば、残るものはたゞ破滅だけだ



五月の空

片寄 薫

五月の空は——  
 爽やかな風の私語と  
 アスバラカスの仄かな匂ひ

五月の空は忘れかけた遠い日の  
 淋しい感傷の思慕を呼び戻す

五月の空は青磁色のヴェール  
 やむなく捨て、來た至純の夢の数々が陽炎の如くふんわり、ふんわりその影に踊る

花柳病科 小兒科 内科  
**藤沼醫院**

平町紺屋町 電話五〇七番

看護婦急派の求めに應じます  
**平看護婦會**  
 平町南町 電話三〇七番

露披御車新

三四年型テラツクスセダンが入荷致しました  
 貨切の御用命の節は  
 電話六八五番へ……  
 是非御試乗の程を願ひます

三井タクシー  
 電話六八五番

魂の這入つた

フタバの自轉車で

フタバ式リヤカー發賣元

フタバ商會

平。新川町。月見橋際

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

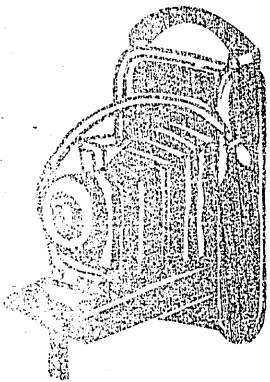
醫學士 鈴木 正男

平町田町(電話五八番) 藤田女學校前

自炊のお需めに應ず 入院の便あり

春!

カメラファンの活躍期です



MSカメラ

平 驛前  
**いづみや玩具店**  
 カメラ部

吸入用酸素 純度 99%

度量衡  
 モノサシ  
 マス  
 ハカリ  
 寒暖計

關内藥局

寫真材料一式販賣致シマス

電話四〇番

旭硝子株式會社製品 板ガラス

赤菱印 硝子 食器 其他各種

松崎硝子作所製

平町新川町(電話一四二番) 仙臺市榮町(電話五九七番)

電話一〇八番開設

毎度有難う御座います  
 ベーカリー東京堂もウマイパンとの御評判で喜んで居ります  
 此度電話一〇八番を開設致しました  
 ドン／＼御利用を願ひます

一リカーベ 堂 京 東  
 路小搦搔 番八〇一話電

# 町營電氣絶望

## 電氣事業の統制上

### 自治的には許さぬ方針

#### ▽平町の計劃頓座

平町資源調査會では同町の恒久財源捻出のため電氣町營を計畫し着々準備を進めてゐたが

此程委員が仙臺逓信局に訪問した結果政府の方針はさるる二月以降府縣及び市町村營の電氣事業は認可せぬことと決定されたといふこと

七日付を以て縣當局より左の如き通知あり遂に

右計畫は書併に歸した今般電氣委員會に於いて電氣事業の國家的統制實施に關する考慮に基き慎重審議の結果府縣營電氣事業は事業統制上適當ならざる場合多きが故に濫

之を容認すべからざる旨の決議有之たるに付市町村營計畫に關しても右と同様爾今事業統制上何らの支障なきものに非ざれば詮議相成難し

## 郵便配達の

### 敏活を圖る

#### 希望を容れて

#### 區域を増加す

既報平郵便局では過般同局の各種事務施設に付いて電話加入者七百餘名に對し改善すべき事項を照會した結果八十餘通の回答に接したので是れを基礎とし今後種々民衆の便を圖る事になつたが回答中最も多かつた「一號便を早く配達せよ」に就いては從來の五配達

を六區に増し配達人も増加して敏速を計りつゝあるが同局では更に一般市民と最も接して居る集配人保險勸誘人等に就いての注意を一般より求めて一層逓信事務の民衆化を圖る計畫中である

學校授業公開 平第

他の見學する向きが多いので本月より公開授業の準備を始めて居る

## 所得稅調査

### 委員會開く

平稅務署の所得稅調査委員會は去る五日開會猪狩庄平氏委員長の許に提出された所得額申告に基き調査のため一旦閉會本日午前十時より再開したが會期は一週間位の豫定である

## 遺族に御下賜金

### 愛國婦人支部總會にて

#### 平町該當者

平町では六月下旬福島市に於て開催される愛國婦人會福島支部總會に出席し得る傷夷軍人並に戰病死者遺族を調査中であつたがその該當者は左記五名である

- ▲傷夷軍人岩本重雄(田町)
- ▲遺族緒形維親(紺屋町)
- ▲齋藤ヤエ(南町)
- ▲沖野仙五郎(田町)
- ▲比佐みな(田町)
- ▲鈴木重三郎(氏方)

尚ほ右の諸氏には總裁宮殿下よりの御下賜金を賜る由

## 平青訓が

### 服裝一定

平青年訓練所では今回縣で制定した左記服裝規定を採用し今後所員の新調服裝を統一する事になつた

(主事) 一、帽子の徽章は訓練所のものを

も妨げず  
一、ボタンの色は茶褐色  
一、ネクタイは黒色のもの

(生徒)  
一、帽子服共にカーキ色  
雲才地とし帽子の側縁は赤色  
一、同色の巻脚絆を着用する事  
一、ズボンのポケットは左右後の三箇

第一月次運動 平第一小學校では本月廿六日午前九時より同校庭に於いて月次運動會を催すので近く各教員中より委員を擧げて準備を行ふと

## 女生徒達の

### 自治心を涵養

平第二小學校では豫てより生徒各自の自治精神の涵養を圖る爲め五年以上の正副級長を以つて毎月一回打合せ會を開いて來たが今回尋常三年以上の正副級長を以つて正式に自治會を設置し第一回の會合を昨日開いた結果各役員全部を生徒が左の如く選舉決定したが今後意見發表善行表彰等の外自治新聞を發行する等種々活動する筈

(顧問) 教員全部(會長)高二根本ヒロ子(副會長)高二鈴木ヒデ(記録係)高二小野フミ子(通達係)小杉イノ、永山ミヨ(外各級より一名宛 自治新聞係)高二全員外各級より一名宛

## 女生徒達の

### 自治心を涵養

#### 自治會を新設して

平第二小學校では豫てより生徒各自の自治精神の涵養を圖る爲め五年以上の正副級長を以つて毎月一回打合せ會を開いて來たが今回尋常三年以上の正副級長を以つて正式に自治會を設置し第一回の會合を昨日開いた結果各役員全部を生徒が左の如く選舉決定したが今後意見發表善行表彰等の外自治新聞を發行する等種々活動する筈

平町人事  
回出 生  
亘町六八 筒井杵三郎

氏五男恒男さん  
回死 亡  
△新川町二 風間フサさん  
(八七)  
△古鍛冶町三一 高萩はるさん(六三)

## 美しき花の種子



巨大輪七寸咲朝顔が参りました  
毎度御好評をいただき居ます  
横濱書本會社の輸出向特撰種子です「草花種子の蒔き方」差上ります

西村屋藥局種子部  
平 2 電 3

玉屋洋品店  
平町田町通電話六五六六番

●店員募集  
年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ

## 有給社員招請

### 三井生命保險株式會社

◇外務社員 拾名  
◇監督社員 三名  
駐在地ハ福島縣内ニシテ本人ノ希望地  
◎入社御希望ノ方ハ左記出張所へ履歷書提出セラレタシ  
▼出張所  
福島縣平町鍛冶町二九(電五〇三)

# 先づ本町通の

## 舗装道路着手

### けふ平町に入電...

#### 來月下旬から工事開始

平町では都市計画法實施と共に主要道路に近代的美觀を添へ且つ同町の悪路泥濘禍を一掃すべく工費

四万圓のうち三分の一

地元負擔を以て長橋より五丁目までの國道舗装を計畫縣當局に數回に亘つて施工實現方を陳情した事は屢報の如くであるがその後石城地方には夏井川改修に次ぐ古河改修工事その他の道路河川、港灣の匡救工事が他郡に比し比較的多く

實施されてゐる結果

舗装工事は一時葬り去られんとする危険な形勢に立至つたがこれを知つた小林平土本監督所長、井上、野崎

萩原の地元選出三縣議が猛烈な折衝を試みた結果いよいよ施工する事に

決定した旨本日平町に公電あつたが縣支出工費は一万五千圓に半減された

従つて平町の負擔も三分の一五千圓、總計二万圓を以て先づ一丁目より五丁目の國道を舗装する事になり六月下旬着工の筈である。工事は

約半年を要するので

十二月中に竣工の豫定である、尙長橋、研町、紺屋町の國道筋は繼續事業として次年度に施工する計畫である

## 農家の丹精

### 無断で失敬

#### 盛りの菜の花が頻りに荒される

平町郊外田圃には今菜種の花盛りで薫風に誘はれて芳郁たる香りを五月の田圃に

漂はしてゐるが最近この菜の花を引抜いて持ち取る不届者が頻りにあるので平町

### 明日の天気

今晩も明日も南東の風晴曇半す

今日晩の部

- 後六〇〇 子供の時間
- 後六二〇 子供のレヴュー座
- 後六三〇 言葉の講座
- 後六四〇 文語と口語標準語と方言
- 後七〇〇 講演「英國教育と國民性」宮本覺純

明日の部

- 前六三〇 基礎獨語講座

### 廿七年間音信不通 兄から失喪の宣告

上遠野村字白幡廿八農丑太郎弟小野常三郎(五)は明治四十二年八月二日情婦と共に無断家出した儘廿七年間を過ぐる今日迄一回の音信もなく生死すら不明なので兄の丑太郎から本日平區裁判所に常三郎の失喪宣告を願出た來たので本年十一月十四日午前九時迄平區裁判所に當人の届出がなければ失喪の宣告が成立する事になる

### 石炭代を 雇人が横領

磐崎村大字上湯長谷小野田生れ湯本町字天王崎四四石炭商鯨岡益三郎方雇人秋久保榮二郎(二)假名は去月初旬より數回に亘り石炭賣掛代金三圓餘を横領費消した事と發覺昨八日平署に檢舉された

### 和田中将晩餐

平町國防研究會では九日午後五時より住吉屋本店に於て和田中将歓迎晩餐會を開く

### 白土會の温習

平町町喜多流講曲白土會では來る十二日午後六時より同稽古舞臺に於て月次温習會を開催するが番組は左の如くである

源氏供養 藤戸 鶴飼

橋本忠夫 前七二〇 聖典講義、高神覺昇 前七三〇 家庭婦人講座「誰にでも出来る應用藝術」須藤邦郎 後七〇〇 映畫物語「王を懐いて罪あり」徳川夢聲 後二〇〇 家庭大學講座「現代文の鑑賞」小山龍之助 後二、四〇 武徳祭 大演武會試合實況 京都武徳殿中繼

後六〇〇 子供の時間 お話「遼東還付詔勅換發四十週年を迎へて」吳海軍軍需部長 海軍少將名古屋十郎 後七三〇 「講演瀨戸内海の成立」廣島高師教授下村彦一 後八〇〇 ピアノソング アイオリオン二重奏 後九〇〇 舞臺劇(歌舞伎座より中繼)「四千兩小判梅葉」尾上菊五郎他

### 裁判所たより

- △箕輪村大字高野字石畑五四生れ住所不定無職高萩喜久男(三)が去月廿一日より廿五日迄に湯本町字天王崎瀧己之吉方外五ヶ所より腕時計衣類白米等を竊取した事件は昨八日午後二時より平區裁判所に於いて關口判事より懲役三年を言渡された
- △既報赤井村大字西小川字中野農松太二男松崎美松(三)が去月廿日同村上野地内山林で投げ捨てた煙草の吸殻から山林二反歩を焼いた事件は本日午前十時より平區裁判所に於いて中島才判事より清田檢事立會のもとに準備公判を開かれた結果近く才判事一行は發火箇所の被害調査を行ひ更に公判に附する

### 一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が自由に讀める

川崎文庫 電六三〇番

(申込次第規則書進呈)

### 平職業紹介所報告

求人を求める方

- △理髮女工 十五才一十八才位 尋卒 仕着小遣

### 托兒所の講習科目

既報來る十八日午前九時より平第三小學校で開かれる

講習科目

- 幹事會の組織
- 托兒所の設備
- 托兒所の衛生
- 托兒所の食料
- 托兒所の衣服
- 托兒所の玩具
- 托兒所の圖書
- 托兒所の音楽
- 托兒所の遊戯
- 托兒所の衛生
- 托兒所の食料
- 托兒所の衣服
- 托兒所の玩具
- 托兒所の圖書
- 托兒所の音楽
- 托兒所の遊戯

# 近斬首頭

(榮隆殿上及上漢)

田邊南龍(作)  
山本英春(劇)

常平の眉間を

「ワッ……」  
と云つて這ひ上らうとす  
ると、足が滑つて埋けてあ  
つた金魚の入る瓶の中へ潜  
り込み、藻を被つて、ブツ  
／＼上つて来る、三平可笑  
しいからグラ／＼笑つてゐ  
る。

「コレ、三平」

「ヘエ」

「此野郎、主人が泉水へ落  
たのを見て笑つてゐる奴が  
あるか」  
「笑やアしません、誠に落  
こつて御愁傷様だと思つて  
涙を垂らしてゐるんで」

「嘘を吐け足で蹴つて靴が乃  
公の頭へ當つた以上、隣家  
庄右衛門に足蹴にされたも  
同様であるに依つて、庄右衛  
門に篤と面談をするから呼  
んで来い」

「夫れは旦那いけません、  
鞠は飛石に落たので」  
「イヤ、乃公の頭だ」

「頭なら頭でも宜しうござ  
いますか……」

「愚圖々々云はずに庄右衛  
門を呼んで来い」  
主人の言付だから仕方が  
ない、三平も厭々ながら隣  
家へ出掛ける事になつた、  
此方は常平

「サア若旦那大變で、勘が

隣の座へ落た爲に旦那が泉  
水へ落こつたやうです」  
「夫だから将棋でもさして  
ゐりやア、こんな事になら  
ないんだ大變な事になつて  
終つたな」

だと云つて高が鞠から起つ  
た事だ、別に怪俄をした様  
子もないからぢやアさうし  
て呉るやうに」  
と云はれて常平、門を出  
るとバツタリ三平に出會つ  
た  
「オイ常公大變な事が出来  
た」  
「どうした、旦那アお怪俄  
でもなすつたかい」  
「爲つたかいとは何だ大變  
な怪俄をして舌を噛み切つ  
つた」



「ナニ、宜しうございます  
貴所がけつたといふと面倒  
になりますから、私は何處  
までもした心算にして、詫  
つて毬を貰つて来ますから  
……」  
「どうが然うして呉れるや  
うに……、阿父さんが留守

「夫ア大變だが、ほんとう  
か」  
「舌を噛み切つたと思つた  
らな金魚を頬張つてゐたん  
だ」  
「巫山戯なさんな、マア何  
しろお詫に……くんだから、  
お前も詫つて呉んな」

「ウム、共々詫つてやらう  
……」  
「ぢやア何分頼む」  
と庭から入つて来る、傳  
八郎は女を呼んで、お召を  
着替へ、縁先で煙草をバク  
／＼と飲んでゐる、常  
平庭の飛石の上へ手を突い  
て、三平も其の跡へ頭を下  
げて

「隣家の常平と申まする若  
黨が此處へ参りました」  
「何しに来た」  
「エ、私は隣家庄右衛門の  
召使ひ常平と申まする者、  
主人庄右衛門は今日寺詣り  
に参り不在でございます  
毬屋から出来て参りました  
毬を徒らにはづましてをり  
ました、スルと風が激しく  
吹きました爲に、その毬が  
此方のお庭へ落ましてござ  
いまして、誠にどうも恐れ  
入ります、主人が歸ります  
と叱られますから、どうぞ  
下郎を不惑に思召てあの鞠  
をお戻しなすつて下さいま  
し」

「黙れ、手ではづましてゐ  
る毬が、どの様に風が吹か  
うとも、此の高塀を乗越へ  
此方へ落る事があるものが  
やれ谷渡りだの瀧落しだの  
高足だのと申すのを聞いて  
ゐたぞ」

市原 貝焼 産土市

ウニヤキ

魚問屋

店理代平命生本日本最優最

榮 盛 賀 志

(三一二電)目丁四平

店主が	店員
を連れ	て行
か	れる
正	正
シ	シ
イ	イ
酒	喫
場	茶
平・田町	
レスト	
サロン	
電三五二番	

市原 醫院

平町 田町

電話一四番

石 炭

玉 炭

平 炭

阿部石炭商店

電話三七番

阿康 藥舖

電話四四番

太乙膏

平町古鍛冶町一〇

キリ印

キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料  
で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらして下さ  
い。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキ  
レイに治ります。

陽はらう新緑を尋ねて!!!

……かすで何如はアイラドなんこ……

須賀川と蛇の鼻の牡丹、熱海温泉へ熱海  
温泉と猪苗代湖畔探勝、筑波の岩ツ、  
赤土浦飛行場、笠間稲荷、水戸、大洗  
松村虚空藏、日立銅山太田御西山端龍へ

飯坂温泉より靈山探勝中村原ノ町へ快走  
湖畔那須、鹽原の温泉郷へ、日光中禪の  
湖畔ヨリ鬼怒川温泉へ成田、香取、鹿島寺  
靈地、湖來の水郷へ、仙臺、鹽釜、松島  
探勝、東山温泉より柳津虚空藏、野澤の  
山神社へ

▼二泊三日▲  
平泉の金色堂と花巻温泉探勝、東京、八  
王寺、浅川、高尾、富士五湖、函館、小  
田原、函根、熱海、三浦半島一周、熱海  
湯河原、伊豆、下田港の伊豆巡り  
回御希望の地方によりプラン立てます  
車輦豊富

東鐵 不二タクシー

電話三三二番